



▲食事中的猫たち。みんなさくら耳

(写真提供…澤野 佐知子さん)

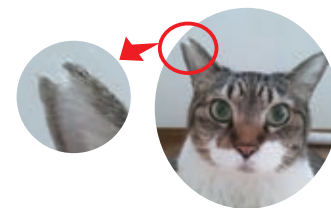
何十匹もいたし、あさひ公園では周囲の家を回って活動の説明をし、夜、仲間と一緒に捕獲して回りました。

最初の何年かは、術後の経過観察を兼ねて餌をあげにいくと、近所の方によく怒られました。「餌をあげなければここに来なくなる」と言われましたが、餌をあげなければほかの場所に移動するか餓死するか、どちらかしかないです。

捕獲に行ってもいろいろ言われます。「手術をして、元の場所に戻す」と説明すると、「何で戻すんだ」と怒られます。そういう時は、猫被害に対するその方の話を聞いた上で、「手術をするから増えなくなる。シェルターはなく、ボランティアもこれ以上は保護できない状態なので元に戻すしかない。効果はすぐには出ないけれど、状況を良くするために今からできる活動がこれなんです」と自分たちの活動について話

猫も人も、暮らしやすいまちに

殺処分ではない解決を目指して 10 年



▲手術済の印「さくら耳」

最近「市内で野良猫をあまり見なくなった」と感じませんか。市内のボランティア団体が、飼い主のいない猫による被害をなくし、殺処分も減らす「TNR※」と呼ばれる活動に取り組んで 10 年。地道に活動が続けてきた結果が見えてきました。そのような団体の 1 つ「しあわせ猫の会」の澤野 佐知子さんにお話を伺いました。

問合せ 環境政策課内 226



澤野 佐知子さん
（「しあわせ猫の会」代表）

TNR（飼い主のいない猫に不妊手術を行うことで繁殖を防止し、一代限りの命を全うさせ、苦情や殺処分の減少に寄与する）活動を、市とともに 10 年以上続けています。

■市内にあふれていた猫たち

10 年以上前、多摩川の土手には飼い主のいない猫が 70 匹くらいいたんです。初めて見たとき、その数の多さに驚きました。それから「この子たちはご飯が食べられてるんだろうか」と夜も寝られないくらい気になってしまい、餌をあげに行くようになったんです。

その場所、飼い主のいない猫対策のボランティアをしている方に会い、TNR※を手伝うようになりました。

以前、実家でも飼い主のいない猫に餌をあげていたことがありました。でもこのままでは増えてしまう、何か対策はないかと動物担当の行政機関に相談しましたが、解決策は見つかりませんでした。「本当に方法はないの？」

■地域と猫の歩み寄り

飼い主のいない猫に不妊・去勢手術をすれば増えることはないし、時間ばかりですが、殺処分しなくても、その猫の寿命が尽きればいなくなり、猫被害もなくなります。

はじめは自費で手術を受けさせていたのですが、数が多くてすぐ費用がかかるので、市に相談しました。市は「市として取り組むべき問題」と、最初の年はどうぶつ基金※を活用し、次の年からは助成金を用意してくれました。当時は土手以外にも、あちこちに猫がたくさんいました。富士見公園にも



▲羽村駅西口駐輪場で長らく暮らしていたサダハルくん。高齢になり弱って保護された。

し、理解を求めます。最後にはだいたいの納得してくれます。

■活動の源にある思い

活動を 10 年続けて、今、市内では飼い主のいない猫をあまり見なくなりました。たまに見かけても、だいたい「さくら耳」をしています。飼い主のいない猫による被害の相談も随分減ったと聞いています。

私たちの活動は怒られることも多く、ストレスは結構ありますが、話さないと分かってもええないし、生きていくのに食べられない猫の姿はかわいそうだし、やめようと思ったことは一度もありません。

最近市内で飼い主のいない猫を見なくなった背景に、こういう活動があることを知ってもらいたいです。そして地域の方には、餌をあげている人を温かく見守ってほしいです。餌をあげる人は責任を持って「食べ終わるのを待つて片付けと掃除」をして地域の方

へのマナーを守り、猫が悪者にならないようにしてほしい。

猫が嫌いな人の気持ちも分かります。でも、身の回りだけでなく、市全体で飼い主のいない猫の被害を減らすために、大きな視野で見てもらえればと思います。動物の命を大切にすることは人の命を大切にすることにもつながると思うんです。

最近、飼い主が高齢になり猫の世話ができないという相談を受けるようになりました。そういう猫はだいたい大人の猫なので、里親を見つけるのが難しく、次の飼い主を見つけれずに置き去りにされるケースもあります。

具合が悪い猫や年を取って弱った猫を保護するシェルターがほしいと思いますが、無責任に始めることはできないし、一人ではもちろん続けられないので、どんな方法が可能か考え中です。殺処分ゼロを目指すのはもちろん、不幸な猫がいなくなることが私の理想とするところ、願いです。活動を始めた頃とそこは変わらないですね。



▲澤野さんの自宅のケージは弱った保護猫で満室

※ TNR とは… (公財) どうぶつ基金パンフレットより

Trap トラップ 捕まえる

猫がけがをしないように気を付けて捕獲器で捕獲。捕獲器を仕掛ける前には連絡先と目的を描いた張り紙をして、仕掛けたら離れずに見守る。猫が捕獲器に入ったらすぐに布で捕獲器ごとくるんで安心させる。

Neuter ニューター 不妊・去勢手術

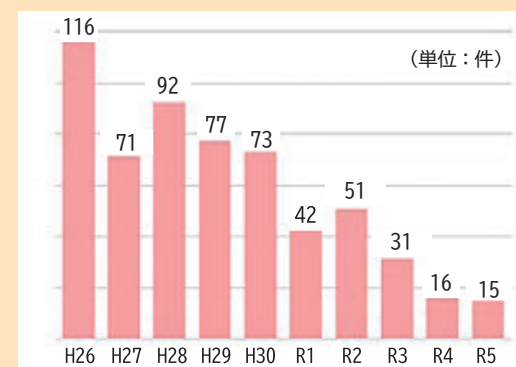
「不妊・去勢手術が済んでいる」印として、全身麻酔の間に耳先を V 字カットする（これがさくら耳）。猫は痛くないし、出血もほとんどない。

Return リターン 元の場所に返す

ボランティアが手術後の経過観察をする。あげた餌は食べ終わるのを待ち、後片づけと掃除をする。

羽村市の猫の不妊・去勢手術助成件数の推移

羽村市での助成件数はこの 10 年間で激減しています。TNR が進んで、手術していない飼い主のいない猫が減っていることを表しています。



※公益財団法人 どうぶつ基金…1988 年創立。全国の獣医師や行政、ボランティアと協働して「さくらね」無料不妊去勢手術を行っている。

飼い主のいない猫については、市役所（環境政策課）に相談してください。



猫の飼育マナーアップ！

～みんなが気持ち良く生活できるまちを目指しましょう～

猫に関する近隣トラブルの原因の一つに「不適正な猫の外飼い」があります。糞尿、鳴き声、ごみを荒らしたり、予期せぬ繁殖などの事例があります。

猫を飼う時のポイント

○室内飼いが基本です。

○マイクロチップを装着する、首輪に身元を表示する。

※迷子になった時の手掛かりや、飼い主のいない猫と見分けることができます。

○不妊・去勢手術をする。

○万が一の際の預け先を準備しておく。

問合せ 環境政策課内 226